

グリーンニュース 第24号

発行年月日 平成16年12月17日

発行責任者 群馬県環境アドバイザー連絡協議会

代表 鈴木 克彬

環境アドバイザー重点行動テーマ

行動する環境アドバイザー

・・・研修・情報交換の場を広く・・・

マイ・バッグ・キャンペーンを実施

・・・アドバイザー各地で店頭啓発(2ページ)・・・

エコムープ号(群馬県環境学習車)大忙し

・・・環境学習サポーターの努力、着々と実る(3ページ)・・・

容器再利用システム(デポジット預かり金制度)を実施

・・・県環境フェスティバルでトライ!成功裏に終わる(4ページ)・・・

エコクッキング(クレープづくり)に挑戦

・・・パラボラ型太陽光集熱器を自前で製作(5ページ)・・・

地域環境学習地域で実施中

・・・アドバイザー関連は、県内18学習(6ページ)・・・

西部ブロック活動報告

・・・うるおいのあるまちの実現を目指して(6ページ)・・・

環境問題講演会

・・・レーナ・リンダルさん(スウェーデン)を迎えて(7ページ)・・・

アドバイザー研修会を2月27日(日)に予定

・・・地球温暖化現象と気象の関係をテーマとした講演を検討中(8ページ)・・・

マイ・バッグ・キャンペーン地区別啓発活動一覧

	日	市町村	場所	時間	参加団体
1	8月29日	桐生市	桐生市立相生公民館(ふれあい広場)	9:45 ~ 14:00	桐生市生活学校
2	9月2日	富岡市	コープぐんまとみおか店	15:00 ~	コープぐんま
3	9月5日	富岡市	ヤオコー富岡店、ベシア富岡店、丸幸バイパス店、Aコープ富岡店、Aコープハピネス店	16:00 ~ 17:00	環境アドバイザー、地婦連、くらしの会、生活研究グループ、JA女性組織
4	9月5日	高崎市	コープぐんまりセロ寺尾店	11:00 ~ 14:00	コープぐんま
5	9月8日	高崎市	バリュー高崎店	10:00 ~ 12:00	環境アドバイザー西部ブロック
6	9月9日	高崎市	バリュー高崎店	10:00 ~ 12:00	環境アドバイザー西部ブロック
7	9月12日	渋川市	市環境まつり	9:00 ~ 15:00	婦人会
8	9月12日	高崎市	地区参加店		高崎市生活学校
9	9月12日	伊勢崎市	コープぐんまりセロ宮子店	10:30 ~ 12:30	コープぐんま
10	9月14日	高崎市	フレッセイ石原店	14:20 ~ 16:30	環境アドバイザー西部ブロック
11	9月15日	高崎市	とりせん石原店	14:20 ~ 16:30	環境アドバイザー西部ブロック
12	9月16日	富岡市	コープぐんまとみおか店		コープぐんま
13	9月17日	高崎市	ヤオコー井野店	11:00 ~ 12:30	環境アドバイザー西部ブロック
14	9月17日	藤岡市	ジョイマートユニー藤岡店	16:00 ~ 17:30	多野藤岡ブロック環境アドバイザー、宮本町生活学校
15	9月18日	藤岡市	スーパー丸幸宮本店	16:00 ~ 17:30	宮本町生活学校
16	9月18日	高崎市	ヤオコー井野店	11:00 ~ 12:30	環境アドバイザー西部ブロック
17	9月19日	安中市	トリチュー安中店、安中市文化センター広場、Aコープ安中店	10:00 ~ 15:00	環境アドバイザー西部ブロック
18	9月21日	沼田市	Aコープ沼田店		環境アドバイザー沼田
19	9月26日	大胡町	フレッセイ大胡店、しみずスーパー大胡店、ベシア大胡店	10:00 ~ 15:00	環境アドバイザー前橋、婦人9団体
20	9月28日	新田町	コープぐんま木崎店	15:00 ~ 17:00	環境アドバイザー太田地区、地元婦人会
21	9月29日	尾島町	ベシア尾島店	15:00 ~ 17:00	環境アドバイザー太田地区、地元婦人会
22	9月30日	太田市	コープぐんま新井店	15:00 ~ 17:00	環境アドバイザー太田地区、地元婦人会
23	10月1日	高崎市	フレッセイ日光店	10:30 ~ 11:00	高崎くらしの会
24	10月1日	前橋市	フーズガーデンアベック広瀬店	16:00 ~ 18:00	環境アドバイザー前橋市連絡協議会南部東部地区
25	10月3日	桐生市	コープぐんま相生店	10:30 ~	コープぐんま
26	10月6日	箕郷町	まるおか	10:30 ~ 12:00	環境アドバイザー西部ブロック
27	10月7日	甘楽町	スイートハッピー	15:00 ~ 16:00	環境アドバイザー富岡ブロック、くらしの会、JA女性組織
28	10月7日	箕郷町	まるおか	10:30 ~ 12:00	環境アドバイザー西部ブロック
29	10月9日	甘楽町	ベシアフードセンター富岡甘楽店	15:00 ~ 16:00	環境アドバイザー富岡ブロック、くらしの会、JA女性組織
30	10月12日	高崎市	食彩館マルシェ高崎店	16:00 ~ 17:00	高崎市くらしの会
31	10月13日	伊勢崎市	イトヨーカドー伊勢崎店	15:00 ~ 17:00	環境アドバイザー伊勢崎地区
32	10月13日	前橋市	フレッセイクラシード若宮店	13:30 ~ 15:30	生活学校若宮地区
33	10月13日	前橋市	フレッセイクラシード若宮店	13:30 ~ 15:30	桃井婦人会
34	10月16日	伊勢崎市	とりせん平和町店	13:00 ~ 15:00	環境アドバイザー伊勢崎地区
35	10月16日	伊勢崎市	ベルク美茂呂店	13:30 ~ 17:30	環境アドバイザー伊勢崎地区
36	10月21日	前橋市	コープぐんまりセロ細井店	15:00 ~	コープぐんま
37	10月24日	群馬町	群馬町消費生活展(中央公民館)	10:00 ~ 15:00	群馬町くらしの会、群馬町役場職員
38	10月24日	桐生市	コープぐんま相生店	10:00 ~ 12:00	コープぐんま、桐生市くらしの会
39	10月30日	前橋市	前橋市元総社公民館	13:30 ~ 15:30	利根西環境フォーラム、環境アドバイザー
40	10月31日	高崎市	地球市民の日2004	10:00 ~ 15:00	高崎市くらしの会
41	10月31日	伊勢崎市	伊勢崎市耕の郷	10:00 ~ 15:00	環境アドバイザー伊勢崎地区
42	10月31日	桐生市	桐生市生活展		桐生市くらしの会
43	11月6日	松井田町	トリチュー松井田店、松井田商店連盟	15:30 ~ 16:30	環境アドバイザー松井田協議会、松井田町食生活改善推進協議会
44	11月7日	太田市	太田市環境フェア		太田保健福祉事務所環境部
45	11月7日	伊勢崎市	コープぐんまりセロ宮子店	10:30 ~ 12:30	コープぐんま
46	11月9日	宮城村	Aコープ宮城店	10:00 ~ 18:00	環境アドバイザー勢多ブロック宮城地区、地婦連、若妻会、ボランティアグループ、商工会婦人部
47	11月27日	松井田町	トリチュー松井田店、松井田商店連盟	15:30 ~ 16:30	環境アドバイザー松井田協議会、松井田町食生活改善推進協議会

47回57か所

「動く環境教室」大盛況！！

エコムーブ号を使った「動く環境教室」が、環境学習サポーターのみなさんにより各地の学校などで行われていますが、9月末の時点で既に昨年度1年間の実績（26回）を上回る状況となっています。次世代を担う子どもたちへの環境教育は、持続可能な社会を構築していくために大変重要なことであり、教育現場での環境教育実践を支援する「動く環境教室」は意義深いものであると思われまます。学校の評判も上々で、「来年も活用したい」との声があがっています。

10月末時点の実績は次のとおりです。

エコムーブ号稼働状況（動く環境教室のみ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
今年度	1	2	5	10	2	8	11	39
昨年度	0	2	1	1	1	4	5	14

～環境学習サポーターさんの声～

○笛木京子さん（前橋市）

環境を考えて行動できる人になって欲しいと始めた小中学校へのサポーター活動も、1年が過ぎました。

子ども達から「家族4人分の1週間のゴミの量を見てその多さを再確認した」「各種の実験を自分の手で行った事で、身近な環境を知ることが出来た」「マイバック活動やグリーン商品の購入等。また自転車を使うメリットを家族で話し合い環境保全行動を始めた」等の作文が寄せられました。

今後、この様な小さな成果の積み重ねを家族を含めた地域参加型に発展できたら素晴らしいと思います。



水の実験の様子



排気ガス実験の様子

容器再使用システム(デポジット預り金制度)を実施

16年度群馬県環境フェスティバルが、10月10日(日)県庁前広場で開催されました。その際、群馬県環境・森林局は新事業の一つとして、DRS(ディッシュ・リユース・システム)という『ごみゼロ』運動を実施しました。そのねらい・手順などは、次の通りです。

ねらい

イベントにおけるごみの多くが、飲食物から発生していることから、最終的に『ごみ』になる発泡トレイ・プラスチック容器などの使い捨て容器を一切使わず、代わりに洗って再使用出来る食器(リターナブル食器)を使用することで、未然にごみの発生を防ぎ、ごみの大幅削減を実現する。

手順

- 1 各飲食店テントにて、100円の“容器預かり金”をいただく。
- 2 飲食後、各自が、回収テントに皿を持参し、雑紙(古電話帳)を使って大ざっぱに拭う。
- 3 容器使用者は、容器を渡し、100円を受け取る。
- 4 回収テントにいる担当者は、丁寧に食器を洗い、熱湯消毒して再び貸し出す。

結果

環境アドバイザーや新聞公募に応じたボランティア延約50名のご協力により、何らトラブルなく無事成功した。イベント終了後の状況として、間違いなくごみが削減されているのが確認された。ご協力くださった方々に、この場をかりてお礼申し上げます。

今後の課題

- 1 発生抑制という観点からスタートし、『イベントをすればごみが出る』『イベントはごみの後始末が大変』という言葉で、“過去の遺物”にしたい。
- 2 県その他、市町村関係のイベントでも、出来る限り、この方式に取り組んで欲しい。
- 3 そのため、群馬県は、県が関係するイベントで、このシステムを率先垂範・実施することを期待したい。

レポート

第6回県環境フェスティバルで環境・森林局が企画した新趣向/D・R・S(ディッシュ・リユース・システム)の実施に環境アドバイザー有志と生協、学生等の一般ボランティア延べ約50名が支援した。

当日午前は小雨模様のため混雑するほどの賑わいは無く、その為もあってか運営を順調に行うことが出来た。

来場者には飲食後の食器汚れ拭取りの協力と環境保全を目的のシステムへの理解をいただいた。終了時、会場にゴミの散らかりが無くホットさせられた。

(野村武彦)

環境アドバイザーへ

今回使用した貸し出し容器(皿・汁用椀)600セットは、環境政策課で保管しています。アドバイザーへの無償貸し出しは可能です。お問い合わせは群馬県環境サポートセンター(027-226-2818)まで。

・ ・地域のイベント等でトライをご検討ください・ ・

エコクッキング(クレープづくり)に挑戦！

10月10日(日)の環境フェスティバルにおいて、環境アドバイザーは、テント一つを担当し、“ヨーロッパ環境視察報告写真展”と“エコクッキング”を行いました。

報告写真展は、約60枚の写真を展示し、訪欧された方々が熱心に説明を行いました。

一方、エコクッキングは、環境アドバイザーの角田潤さん(前橋市)が作成したソーラークッカー(パラボラ式太陽熱集中器)を使用し、『クレープづくり』を行う予定でした。当初は、卵焼きやホットケーキ等の意見もありましたが、短時間で焼けるものとして、クレープになったものです。

しかし、当日は曇り空のため、実質的な稼働が出来ず、クレープづくりは、ホットプレートに頼りました。

《翌週(10月17日)、県庁前広場で開催された群馬県国際フェスティバルは晴天に恵まれ、ソーラークッカーを使用したクレープづくりは、ぐんま日独協会によって実験・実行され、大成功であった、ことを申し添えます》

このソーラークッカーの貸し出しは可能です。

関心のある方は、鈴木代表(027-288-4297)又は角田潤(027-265-1480)までお問い合わせください。ただし、パネルの直径は約1.5メートルと大きいのでライトバンには乗らないことをご承知ください。



ソーラークッカー
(パラボラ式太陽
熱集中器)

地域環境学習推進事業講座一覧

(順不同)

事業名等	講座名等	講師	講師所属等	定員	開催場所	開催日
群馬県環境アドバイザー多野静岡ブロック 代表 井口翔子 TEL:0274-23-0830 井口	冬の渡り鳥を観よう	清水紀久也	日本野鳥の会静岡支部長	60	ふじふれあい館	H16.12.12(日)
環境アドバイザー利根沼田連絡協議会 代表 真下淑恵 TEL:0278-23-6498	自然エネルギー勉強会		環境アドバイザー	40	沼田市	H17.2
群馬県環境アドバイザー連絡協議会 飯林ブロック 代表 相場遼子 TEL:0276-73-5095 相場	台所からの環境革命	中庭三夫	NPO足利水土堂探検団	60	大泉町公民館	H17.2.27(日)
特定非営利活動法人 環境ネット21 理事長 六本木信幸 TEL:0270-23-8698	サラダ・パーティー	中島 朗	中島自動車電装	330	クレインパークホテル	H16.12.6(月)
佐波伊勢崎有機農業研究会 代表 宮田 宏 TEL:0270-25-5185 堀地	生ごみコンポストの上手な使い方からエコッキングまで	杉田 徹	駒沢大学医療健康科学部	30	南公民館	H17.2.24(木)
楽園の自然観察と環境を守る会 会長 片山潤秋 TEL:027-232-9590	碓ノ木川の自然観察と清掃活動	片山潤秋 他		40	碓ノ木川名胡橋付近	H17.3.6(日)
環境アドバイザー連絡協議会西部ブロック 代表 山口牧夫 TEL:027-385-4223 山口	地域環境の現状について (平成16年版群馬県環境白書から)	大澤一明 安田金蔵	県環境政策課・環境アドバイザー	50	箕郷町中央研修館	H16.12.8(水)
県環境アドバイザー伊勢崎地区 代表 古江富雄 TEL:0270-24-2349 古江	第4回冬の渡り鳥観察会	(助)日本野鳥の会員		50	伊勢崎市内	H17.2.27(日)
利根西環境フォーラム 会長 城田博巳 TEL:027-251-6753 城田	ペットボトルや牛乳パックの再利用	鈴木浩子 他	環境アドバイザー	60	元郷社公民館	H16.12.12(日)
群馬県環境アドバイザー連絡協議会勢多ブロック 代表 鈴木克彬 TEL:027-288-4297 鈴木	ごみの減量実効果作戦 チェックシートのまとめ 集計					H16.11~12
群馬県環境アドバイザー太田地区連絡協議会 代表 天笠正樹 TEL:0276-56-5485 田村	八王子丘陵のピオトープ 事業と今後の展開について	長谷井 裕	環境省自然調査員		太田学習文化センター	H17.2月中旬
群馬県環境アドバイザー前橋市連絡会南部東部地区 代表 飯塚忠志 TEL:027-266-0826 西村	欧州環境先進国視察見学 報告会 ごみ問題	鈴木克彬	環境アドバイザー代表	50	下川瀬公民館	H17.2.15(金)
南橋リサイクルの会 会長 新井栄一 TEL:027-233-9225 新井	雑古紙回収実施後の報告	斉藤・中 島	前橋市・今井前橋資源	50	南橋公民館	H17.2.22(火)
環境を考える会 代表 小川登子 TEL:0276-63-7721 小川	小学校へEMによる環境 教育	鈴木幸子	大泉町商工会女性部部長	200	大泉町立東小学校	H17.2

考え、議論、行動を！

・・・感動を与えたレーナ・リンダルさんの講演・・・

1 2月4日県庁舎2階ビジターセンターで行われた講演会は、参加した環境アドバイザー中心の約60名を対象に行われた。在日15年、レンダルさんの大変上手な日本語の講演は、理路整然、説得力があり、参加者は皆聞き入ってしまった。その内容に少しだけ触れてみたい。

- 1 スウェーデンは、環境先進国と言われているが、そのきっかけは、酸性雨・ダイオキシン等で自然が犯され始めたため、国家として、国民として動き出した。何故日本人は、一人ひとりが真剣に考え、議論しないのだろうか。どうして先送りしてしまうのだろうか。
- 2 日本人は、健康の問題には大いに関心があるが、環境となると何故かリーダーシップをもって、動き出す人が少ない。
- 3 スウェーデンは、福祉国家として有名だが、その福祉も持続性を考えると、空気・水・食の安全等が絶対条件で、その環境が犯されれば、福祉も駄目になってしまう。
- 4 子どもの健康を考えると、環境問題は、避けて通れない事項である。そして、学校の授業の中でも、子どものうちから討議する大きなテーマとなっている。
- 5 エネルギー問題は、石油資源のないスウェーデンとしては、生活上の最大の関心事で、そこからバイオマス等のクリーンエネルギー問題が出てくる。本当はスウェーデンよりももっと遠路、大量な石油輸入に頼っている日本の方が、その対策を真剣に考えなくてはいけないのではないかと、思うが。
- 6 木質バイオは、現在地域暖房を中心に発電等、積極的な活用を図っている。そして将来はエタノールエネルギーとして、自動車燃料に使用できないか研究開発が進められている。等々であった。

(文責 連絡協議会 代表 鈴木克彬)



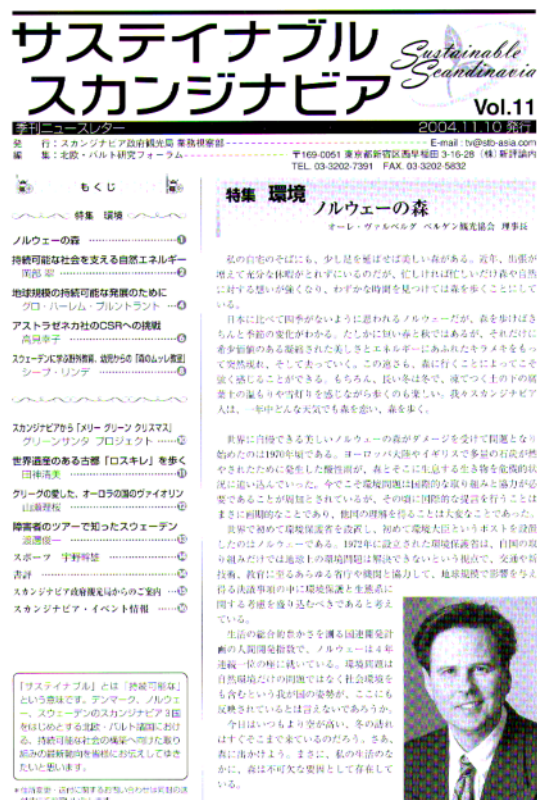
HYGGE UPTOWN EUROPE NEW SCANDINAVIA [ヒューゲ]

21世紀への選択
なぜ北欧三国は
環境先進国になりえたのか。

子供たちに
話しますか？

Scandinavia
スカンジナビア政府観光局

Vol.2



サステイナブル スカンジナビア Sustainable Scandinavia Vol.11

特集 環境 ノルウェーの森

私の自宅のそばにも、少し目を凝らせば美しい森がある。近年、山奥が増えて十分な林野がとれずにいるのだが、忙しければ忙しきだけ森や自然に対する想いが強くなり、わずかな時間を費やすには森を歩くことにしている。

日本に比べて四季が不一样に思われるノルウェーだが、森を歩けば春と季節の変化がわかる。たしかなに春と秋ではあるが、それだけに春と秋の異なる風景が楽しめ、冬と春と秋とに訪れたら春と秋とを同時に楽しむことができる。もちろん、長い冬は冬で、凍てつく土の下の暖かい土の温もりを感じながら歩くのも楽しい。我々スカンジナビア人は、一年中どんな天気でも森を歩い、森を歩く。

奥野に自給できる美しいノルウェーの森がダメージを受けて問題となり始めたのは1900年頃である。ヨーロッパ大陸やイギリスで多量の石炭が採り出されたために発生した酸性雨が、森とそこに生息する生き物を危機的状況に追い込んでいった。今でこそ酸性雨問題は国際的な取り組みと協力が必要であることが認知とされているが、その頃に国際的な視点を有することはまさに画期的なことであり、樹木の回復を待てることは大変なことであった。

奥野で初めて環境保護者を養成し、初めて環境大臣というポストを創設したのはノルウェーである。1972年に設立された環境保護省は、自国の取り組みだけでなく国際的な環境問題は解決できないという視点で、交通・保健、教育に至るあらゆる分野で環境と協力して、地球規模で影響を及ぼす法政省の中心に環境保護と生態系に関する考慮を盛り込むべきであると考えている。

生活の総合的改善を調える国連開発計画の人間開発指数で、ノルウェーは4年連続一位に輝いている。環境問題は自然環境だけの問題ではなく社会環境も含むという我が国の姿勢が、ここにも反映されているとは言えないだろうか。今日はいつもより空気が高い。冬の気ははすくすくまで来ているのだろうか。さあ、森に出かけよう。まさに、私の生活のなかに、森は不可欠な要素として存在している。

「サステイナブル」とは「持続可能な」という意味です。デンマーク、ノルウェー、スウェーデンのスカンジナビア3国をはじめとする北欧・バルト諸国における、持続可能な社会の構築へ向けた取り組みの経緯や現状をお伝えしてきたいと思います。

＊本誌掲載、記事に関するお問い合わせは本誌の発行所にてお願いいたします。

群馬県環境アドバイザー連絡協議会が主催する
各種講演会・研修会(予定)のご案内

今年度も残り少なくなりました。

現在の群馬県環境アドバイザーとしての任期2年も、来年3月末をもって満了となり、4月から再登録となり、新たな任期が始まります。

今年度の締めくくりとして、下記のような講演会の研修会(予定)が開催されますので、奮ってご参加下さい。

1 新春県民講座

平成17年1月22日(土) 13:30~15:30

会場 群馬県庁2階ビジターセンター

講師 群馬県教育委員会

教育長 内山征洋 工学博士

演題「子どもを育む、生命を育む」

環境学習会
入場無料

2 アドバイザー全体研修会

平成17年2月27日(日) 10:00~15:30を予定

今年度の全体研修は、例年の宿泊研修でなく、任期最後の年ということもあり、全体が集まりやすい日曜日の日帰り研修を考えています。

正式な日時、会場、講師、分科会内容については、詳細が決まり次第、お知らせ致します。

コ ラ ム

地球温暖化防止対策の重要な決め手である「京都議定書」(気候変動枠組条約)がロシアの批准で、来春の2月に発効することとなりました。

地球温暖化防止の問題は、これからの地球環境の行方を考える上で、避けて通れない、国際的な最重要課題といってよいでしょう。

日本でも、その批准国として対策が迫られているわけですが、国内の温室効果ガスは減るどころか増え続け、「京都議定書」に定められた日本としての目標値には、現在より14%も減らさなくてはならず、しかも、その期限が3年余りということで、なかなか至難な数値です。

「地球温暖化防止」は、私達の子や孫は勿論、地上の生きとし生けるもの全ての生命に関わることであり、官民一体となって早急に取り組むことが求められており、国民的運動にしていく必要があります。

群馬県としても、その運動の組織化とその組織をコーディネートできる「地域センター」の設置が、差し迫った作業としてあるのではないのでしょうか。

(副代表 城田博巳)